



□発行 学校法人柴田学園 〒036-8503 青森県弘前市上瓦ヶ町25番地 ☎0172-32-6151



本家政学科は創設時より、中学校・高校家庭科教員の養成と同時に栄養士養成に力を注いできました。また、栄養教諭の養成にも携わってきました。以来45年、社会状況はじめ、あらゆる科学・技術面での進化は大きく、教育、健康栄養分野等においても、高度の専門的知識・技術を身につけた人材が求められています。現在、日本の平均寿命は世界のトップクラスにありますが、多くの問題をも抱えています。単に長生きであれば良いのではなく、健康で質の高い生活(QOL)の維持が国民の大きな願いになります。

本学では、これらの願いに貢献するため、厚労省、文科省等と折衝を重ねてきましたが、平成27年4月から「管理栄養士養成」を目的とする「健康栄養学科」の発足が認めされました。

この健康栄養学科は、



東北女子大学
学長 小澤 嘉

「健康栄養学科」が目指すもの

「人間の生涯にわたる健康生活に必要な幅広い専門的知識・方法等を中心課題とするとともに、家庭、福祉及び衣食住等に関わる事項を教授研究し、高い知性と豊かな情操をそなえた実践力のある管理栄養士、栄養教諭、家庭科教員をはじめ、社会各般の分野で有能な人材として貢献できる女性を育成すること」を目的としています。従来、家政学科で行つてきた食分野を重点的に充実特化して、現代の健康栄養科学が必要とするカリキュラム編成とともに、各専門分野の教育研究を推進する優れた教員を配置し、実験・実習施設等も完備している点で、今後の活動が期待されています。

本学科が求める学生像は、「食と健康」についての関心と学修意欲が高く、同分野の教育研究に必要な理数系の基礎学力を有する者です。在学中は専門の教育研究と人格形成に努め、卒後は「食と健康のスペシャリスト」として、行政、教育機関、病院、老健施設等々で力を発揮し、短命県返上と地域創生活動に貢献できる有能な人材となることを期待しています。



学校法人 柴田学園 INFORMATION

- 柴田学園本部 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地 ☎0172-32-6151 E-mail shibahonbu1923@diamond.broba.cc 理事長 今村吉彦
- 東北女子大学 〒036-8530 弘前市清原1丁目1番地16 ☎0172-33-2289 E-mail zimu@tojo.ac.jp 学長 小澤嘉
- 東北女子短期大学 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地 ☎0172-32-6151 E-mail gakumuka@toutan.ac.jp 学長 今村吉彦
- 東北栄養専門学校 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地1 ☎0172-32-6152 E-mail eisen@tcomp.ac.jp 校長 今村吉彦
- 東北コンピュータ専門学校 〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地1 ☎0172-32-6154 E-mail comp@tcomp.ac.jp 校長 今村吉彦
- 柴田女子高等学校 〒036-8154 弘前市豊原1丁目2番地1 ☎0172-32-0135 E-mail kanri@shibajo.ed.jp 校長 森下好宣
- 柴田幼稚園 〒036-8163 弘前市清原1丁目1番地1 ☎0172-32-6518 E-mail shibayoi@jomon.ne.jp 園長 神恵子

●編集後記●

本号には栄専の食育教室、清水森ナンバ講習会、短大生活科の食に関する取り組みが多く紹介されています。これらの積み重ねの下に、学園では4月から管理栄養士を育成することになりました。戦後の生活改良に向けて栄養士養成を始めた学園が、現代における食と健康のスペシャリスト養成をめざしてさらにステップアップします。今後幅広い職域で「栄養士と言えば柴田学園」のイメージが定着していくことを期待したいと思います。

学園報編集委員会

教育と研究

東北女子短期大学講師柳町悟司先生が、11月1日に東邦大学医療センター大森病院で行われた、学会のシンポジウムにおいて、「抗生素投与が腸内細菌に及ぼす影響－健常者での検討－」及び「抗生素投与が腸内細菌に及ぼす影響－胃全摘者での検討－」という2演題で発表を行いました。いずれの発表も、抗生素の投与が被験者の腸内細菌叢にもたらした変化を呼気成分を分析して調べたものでした。また、先生は同日の学会総会にて学会評議員に推薦され承認されました。先生



柳町悟司先生

東北女子大学准教授杉本久美子先生が、9月27日に日本大学文理学部で行われた日本大学英文学会イギリス文学シンポジウム「状況小説の現在」において、「状況小説」として読む『ハワード・エンド』(1910)「文化的対立」と『三代目』を手掛かりに「」というタイトルで発表を行いました。先生は「これまでのアプローチは登場人物の作品における役割や心理変化から作品のテーマと作者の意図を読み解く」というものでした。

東北女子大学准教授杉本久美子先生が、9月27日に日本大学文理学部で行われた日本大学英文学会イギリス文学シンポジウム「状況小説の現在」において、「状況小説」として読む『ハワード・エンド』(1910)「文化的対立」と『三代目』を手掛かりに「」というタイトルで発表を行いました。先生は「これまでのアプローチは登場人物の作品における役割や心理変化から作品のテーマと作者の意図を読み解く」というものでした。

杉本久美子先生

第6回日本安定期位体・生体ガス医学応用学会大会

日本大学英文学会イギリス文学シンポジウム
久美子先生が、9月27日に日本大学文理学部で行われた日本大学英文学会イギリス文学シンポジウム「状況小説の現在」において、「状況小説」として読む『ハワード・エンド』(1910)「文化的対立」と『三代目』を手掛けたりに「」というタイトルで発表を行いました。先生は「これまでのアプローチは登場人物の作品における役割や心理変化から作品のテーマと作者の意図を読み解く」というものでした。

研究成果を発表

2014 東北女子大学・東北女子短期大学 紀要53号 掲載論文

- 小澤 熉：国家総動員体制下における教育制度改革 3
～青年学校令改正による男子義務制度の成立とその意義～
- 西山邦隆・山田和歌子
：細菌汚染の移動と拡散 一条件設定による測定-
- 高橋美智子：ダウン症児の親の会の活動について
－親と学生ボランティアへの調査を通して－
- 尾崎康弘・高橋信進・花田玲子
：家政数学導入の試みⅢ ～アンケート調査を中心として－
- 蓮井裕二：水分補給剤の開発
- 蓮井裕二・西山邦隆
：機能性オリゴ糖の開発及びオリゴ糖による黄色ブドウ球菌の抑制と乳酸菌の増殖効果
- 葛西美樹・工藤寧子・奈良拓哉
：被服構成実習支援のためのマルチメディア教材開発と効果的運用方法
- 一戸智之：バートーヴェン ピアノ・ソナタ第31番 作品110の作品解釈
－演奏者の見地から－
- 友田志郎：プログラミング入門用言語としてのActionScriptの利用
- 崎野三太郎：マルコフ連鎖によるアンケート分析の試み
－女子大学生の数学的印象の予測－
- 安川由貴子：地域子育て支援の意義と課題

- －地域子育て支援拠点事業の変遷を中心に－
- 前田朝美・出口佳奈絵・本橋綾・加藤秀夫・芋坂枝織・西田由香
：トマトの摂取時刻の違いによるリコピンの生体内利用
- 齋藤望・今村麻里子・前田朝美
：中食の利用に関する実態と意識
- 福士章子・太田誠耕
：高等教育機関における保健管理について
- 保村和良：幕末から明治初期の国内留学事情
－洋学修業を志した津軽のサムライたち－
- 佐々木 隆：茶道は人を美しくする「徳」の考察
- 真野由紀子・中島里美
：栄養士課程学生のスーパーマーケットにおける食育活動

- 畠山聰：小論文に関する一考察
- 大瀬恵理子：マリー・ウェブスターのキルトにみるバラ文様
－19世紀バラ文様との比較を中心－

- 兼平拓道：パナソニックの企業分析(IV) 一分社化と組織戦略－

- 兼平友子：オランダ幼児教育法における「足場」の考察

- 中島里美：給食管理実習(校内実習)における学生自己評価に関する考察

- 澤田千晴・安田智子・宮地博子・北山育子
：栄養士養成校の学生における調理実習の指導方法に関する研究(第2報)

- －習熟度自己評価と作業動作から－

- 小野美沙子：後期高齢者医療制度についての一考察 一団塊世代の高齢化の観点から－

- －習熟度自己評価と作業動作から－

